

病院だより

Vol.385

SHOWA Medical University Fujigaoka Hospital

呼吸器内科の役割

呼吸器内科 講師 林 誠

—就任のご挨拶—

腫瘍科 科長

石田 博雄

臨床遺伝・ゲノム医療科 科長

関川 高志

CL科 科長

田代 一真

泌尿器科 診療科長

森田 順

臨床工学室 技士長

柿沼 浩

Events

市民公開講座開催のお知らせ

News

夜間想定消防訓練を実施いたしました

Report

桜の様子

患者さんからのご意見・ご要望

May

5

月号

SHOWA Medical University Fujigaoka Rehabilitation Hospital



昭和医科大学

呼吸器内科の役割

藤が丘病院 呼吸器内科 講師：林 誠

呼吸器内科の受診の対象となる患者さんは、主に咳、痰、呼吸の苦しさなどの症状がある方や、症状がなくても健康診断の胸部レントゲンなどで異常を指摘された方です。症状の原因は様々で、肺がんを始めとする腫瘍性疾患、喘息や主に喫煙による気道疾患、自己免疫などによる間質性肺疾患、急性または慢性の感染性疾患など幅広い領域にわたり、またいずれも生命そのものや生活の質に直結するものです。

そのため正確な診断は重要で、問診や身体診察のみならず胸部CTや肺機能検査、気管支鏡検査などの検査を適切に使い分けて症状の原因を見極めます。治療は疾患の状態に応じて薬物療法から在宅酸素療法、さらには他の専門科と連携した集学的治療まで多岐にわたりますが、どの選択肢が最善かは患者さんによって異なります。私たちは、専門的な知識と経験をわかりやすく患者さんにお伝えしながら、一人一人の価値観や生活の背景を大切にして、ともに考え納得できる治療の方針を決めていきます。病気に対して患者さんと共に歩むことが、私たちの役割と考えています。

肺非結核性抗酸菌症と気管支拡張症（専門外来開設のお知らせ）

肺非結核性抗酸菌症（肺NTM症）はその多くがマックと呼ばれる菌による慢性の呼吸器感染症です。近年この病気と診断される患者さんが増加しており、当地域も例外ではありません。以前は難治とされ、また対処法が限られていましたが、診断や治療の進歩によってできることが着実に増えてきました。一方で、自覚症状がないまま病気が進行してしまうことも少なくなく、その前に適切に介入することの重要性が明らかになってきています。

また、肺NTM症はしばしば気管支拡張症を合併します。気管支拡張症はかつて「過去の病気」とされてきましたが、近年の研究でその頻度の増加が再認識され、対策が急務となっています。欧米では既に複数の新薬が登場しており、日本でも同様の展開が期待されています。

この二つの疾患は密接に関連しており、かついずれも今後の治療の発展が期待されている領域です。当科ではこの現状に対応するため、2026年3月に「気管支拡張・NTM外来」を開設いたしました。これらのご病気でご不安やお困りの症状をお抱えの方はお話を伺いますので、診療情報提供書をご持参のうえおかけください。また、かかりつけの先生方におかれましてはご紹介いただいた後のフォローアップも含め、連携して対応させていただきます。まずはお気軽にご紹介ください。



呼吸器内科のホームページはこちらから 





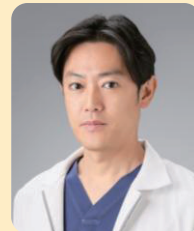
市民公開講座

2026年6月27日(土)10:00~12:00

第一部

鼻スッキリ！ 知っておきたいアレルギー性鼻炎治療

演者：藤が丘病院 耳鼻咽喉科 講師 徳留 卓俊



第二部

アルツハイマー病について正しく知ろう

演者：藤が丘病院 脳神経内科 准教授 金野 竜太



開催形式：ハイブリッド

■対面【定員 100名】

会場：昭和医科大学藤が丘病院 C棟臨床講堂
(横浜市青葉区藤が丘1-31-21)

※病院棟ではございませんのでご注意ください

■オンライン(同時配信)

※録画・録音、画面の撮影はご遠慮ください

参加費
無料

会場



事前申込制

<申込期日> 6月24日(水)

<申込方法> ①右記QRコードより申込
②電話にて申込

公開講座の
お申込みはこちら



<問い合わせ先>

昭和医科大学藤が丘病院 管理課



045-971-1151

公開講座担当まで

月～金曜日(祝日除く) 8:30～17:00

電車でお越しの方

・東急田園都市線「藤が丘」駅下車 徒歩5分

車でお越しの方

・病院駐車場をご利用ください

就任のご挨拶

腫瘍センター長 石田 博雄

2026年4月から腫瘍センター長を拝命いたしました。腫瘍センターでは、主に外来通院でのがん薬物療法を行っております。がん薬物療法は抗がん剤を中心に行われていましたが、現在では抗がん剤以外に分子標的薬、がん免疫療法薬が登場し、これらを組み合わせた薬物治療が行われるようになってきています。新薬の登場により治療効果は格段に良くなってきていますが、多種多様な副作用への対応も必要となり、がん薬物治療を効果的かつ安全に行うためには専門的な知識が求められるようになってきました。

当院の腫瘍センターでは、患者さんを中心として、がん薬物療法に精通した腫瘍内科医、薬剤師および看護師が協力しながら、有効かつ安全ながん薬物療法が行える体制を整えております。さらに当院では、医師、薬剤師、看護師以外にも、ソーシャルワーカーや栄養士などの様々な職種のスタッフが各専門家からの視点で治療が円滑に進むよう、患者さんのサポートを行うことを心がけております。

各部門にがん治療の経験豊富なスタッフが揃っておりますので、治療に際して不安なことやお困りのことがあればお気軽にご相談いただければ幸いです。



いしだ ひろお
石田 博雄

就任のご挨拶

臨床遺伝・ゲノム医療センター長 関川 高志

2026年4月1日付で、臨床遺伝・ゲノム医療センターのセンター長を拝命いたしました関川高志(せきかわたかし)と申します。藤が丘病院腫瘍内科・緩和医療科に所属しており、兼務となります。近年、遺伝医療の発展に伴い、診療で遺伝学的検査を活用する機会が増えています。遺伝学的検査は、病気の診断や治療方針の決定に役立つ重要な検査です。そのため、遺伝医療をより円滑に提供することを目的として、「臨床遺伝・ゲノム医療センター」を設立しました。

遺伝学的検査を円滑に進めるため日々関連部署と相談しながら整備を行っております。臨床遺伝専門医や専門窓口を担当するスタッフと協力し、患者さんやご家族が納得いく説明および検査選択ができるようサポートしてまいります。また、遺伝性疾患はさまざまな症状を伴うことがあるため、診療科を超えた連携が欠かせません。各診療科と専門医、サポートスタッフと協力し、一人ひとりに最適な医療を提供できる体制を整え、遺伝医療を必要とする皆様に質の高い医療を届けられるよう精進してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



せきかわ たかし
関川 高志

就任のご挨拶

CLIセンター長 田代 一真（循環器内科）

このたび、重症下肢虚血センターのセンター長を拝命いたしました。重症下肢虚血は、患者さんの生命予後のみならず、生活の質や社会復帰に大きな影響を及ぼす重要な疾患です。当センターでは、血管内治療、創傷管理、感染制御、リハビリテーションを含めた多職種連携による包括的治療を推進し、救肢率の向上と患者さん一人ひとりに最適な医療の提供を目指してまいります。また、地域医療機関との連携を強化し、早期診断・早期介入の体制構築にも尽力いたします。さらに、臨床研究や人材育成にも力を注ぎ、次世代の医療の発展にも貢献していく所存です。患者さんご家族に寄り添い、信頼されるセンターであり続けられるよう、スタッフ一同、誠心誠意取り組んでまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

就任のご挨拶

泌尿器科 診療科長 森田 順

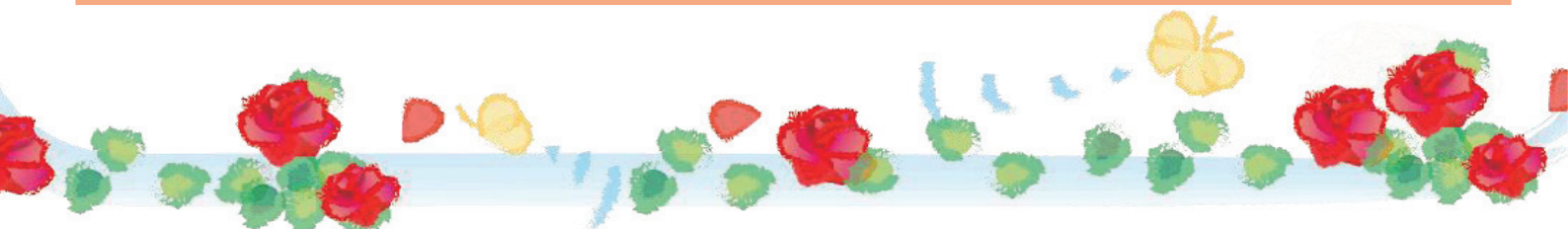
泌尿器科診療科長を本年4月より拝命いたしました。尿路・生殖器疾患を中心とする診療に携わり、気がつけば四半世紀が過ぎました。器械や技術の進歩に伴い、手術の世界も開腹手術から腹腔鏡、そしてロボット支援手術へと大きく変化してきました。科として安全で質の高い医療の提供を第一に、日々の診療に取り組んでおります。

を土台にこれまで培ってきた経験を生かし、診療の質向上に努めます。より安心して受診いただける体制づくりにも取り組みます。ロボット支援手術は当科の核であり、その経験を日常診療に生かしています。しんらいは日々の診療の積み重ねの中で育まれるものと考えています。くらしの質にも目を向け、患者さんに寄り添った医療を大切にします。お一人おひとりの背景に寄り添いながら、最適な治療をともに考えていきます。ねらいを明確にし、術前・術後の振り返りを重ねることで、診療と教育の質を高めてきました。がん診療では手術・薬物療法・地域連携を組み合わせ、最適な医療を提供します。いざというときに安心して頼れる存在であること、それが診療科としてのあるべき姿だと考えています。しっかりとした基盤を築きながら次の世代へつなげていくことも重要です。まさにその延長として、教育・研究の充実にも取り組んでまいります。すべての患者さんにとって納得できる医療を目指し、日々の診療にあたっていきたいと思います。



もりた じゅん
森田 順

泌尿器科をよろしくおねがいします。



2026年4月より臨床工学室の責任者を拝命いたしました、臨床工学技士の柿沼浩と申します。当室は今年度、新たに4名の仲間を迎え、臨床工学技士30名、技術補助員1名の計31名で運営しております。

臨床工学技士は、患者さんを中心に、医師をはじめ多職種の医療スタッフや事務部門と連携しながら治療を支える専門職です。医療機器に最も精通した職種として、現代医療に欠かせない役割を担い、チーム医療の一員として活動しています。

主な業務は、医療機器管理を基盤とし、生命維持管理装置の操作・管理、循環器・呼吸器・代謝領域における治療中の装置操作や患者管理、さらには始業・終業時の保守点検など多岐にわたります。また昨年度からは、タスクシフト・シェアの取り組みとして手術室での器械出し業務も開始し、業務効率化と医療安全の向上に寄与しています。

今後も臨床工学技士としての専門性を最大限に発揮し、患者さんの安全と治療の質を確保するとともに、医療チーム全体の業務最適化に貢献できるよう、職員一同努力してまいります。引き続きご指導ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



かきぬま ひろし
柿沼 浩

Report

桜の様子

3月下旬から4月上旬にかけて、藤が丘駅周辺では桜の花が綺麗に咲き誇っていました。写真は、4月3日にリハビリテーション病院前で撮影したものです。雨が降り続く時期でしたが、この日は晴れ間が見え、患者さんが外でリハビリを行う様子も見られました。

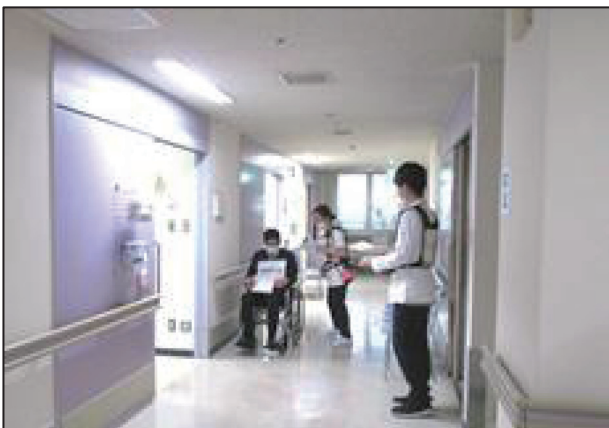


夜間想定消防訓練を実施いたしました

3月9日（月）、藤が丘リハビリテーション病院4階病棟にて夜間想定消火・避難訓練を実施いたしました。

23時の夜勤帯において、パントリーより出火したとの想定に基づき、初期消火活動の手順を確認するとともに、車イスによる移動を想定した模擬患者の避難誘導等を行いました。また、防災センター職員によるシャットオフバルブ等の設備解説をとおして院内設備への理解を深めることで、夜間における防災体制の更なる強化を図りました。改善点としては、初動要員は常に必要な装備を準備しておくよう徹底し、不測の事態に即応できる体制を整えること、そして、周囲に状況がはっきりと伝わるコミュニケーションを意識し、安全確認の精度を向上させることの2点が挙げられました。

訓練全体を通して多職種による適切な連携を取ることができていましたが、有事の際よりスムーズに協働できるよう今後も継続的に訓練を実施してまいります。



編集後記

薬と花のおはなし

新緑の緑がまぶしく、爽やかな風が心地よい季節となりました。

5月中旬に見頃を迎える芍薬ですが「立てば芍薬」のことわざがあるように、すらりと伸びた茎の先端に華やかな花を咲かせる様子が美しいですね。実は、芍薬の根は漢方薬にも使用されており痛みや、筋肉のけいれんを和らげる働きがあることでも知られています。また、女性ホルモンのバランスを整え女性の健康を支える力が秘められており古くから愛されてきた植物です。新年度が始まってひと月が経ち、新しい環境で過ごされている方は心身に疲れを感じている頃ではないでしょうか。美しい芍薬を眺めながら、緑の中をゆっくりと散策し心身をリフレッシュしてみたいはいかがでしょうか。

患者さんからのご意見・ご要望

日々患者さんからいただきましたご意見・ご要望は、病院内全体で共有しております。掲載されていないご意見・ご要望につきましても別途対応しております。今後もお気づきの点がございましたら、お聞かせくださいますよう、お願い申し上げます。



ご意見・ご要望

初めて藤が丘病院に来た際、予約はしてありましたが、朝早く来てしまいました。8時に受付が開始されましたが、スタッフの方々が並ばれて、「おはようございます」と全員で挨拶をされていました。とても素晴らしいことです。対応も丁寧で安心しました。しばらく通院します。よろしくお願ひいたします。

回答・改善内容等

この度は、初診受付に対し、温かいお言葉をお寄せいただき、誠にありがとうございます。毎朝のご挨拶につきまして、お褒めの言葉を頂戴し、スタッフ一同大変うれしく拝読いたしました。今後も、初診受付では、患者様を気持ちよくお迎えできるように、明るい挨拶と寄り添った対応を心がけてまいります。お言葉、感謝申し上げます。

【藤が丘病院：医事外来課】

昨年、片脚切断の際にベッド排泄で居たところ、Fさんのお陰で車椅子に乗れた事は一生忘れられません。今回の入院でも血糖を気にして食事を取れなかった際もアドバイスをいただき、食べれるようになった事は感謝しかありません。Fさん、看護師の皆様、お世話になりました。もう入院しないように頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。

この度は看護師の対応で、お褒めの言葉を頂戴しありがとうございます。指名して頂いた看護師には、感謝の気持ちを伝えさせて頂きました。これからも向上心を忘れず、患者の気持ちに寄り添えるように努めていきたいと思ひます。温かい心遣ひに感謝しております。

【藤が丘病院：5階南病棟】

お陰様で願った通り、家族での生活ができるまでに回復し、本日退院が叶いました。沢山の学びを頂戴致しました。終末も見える年になります。だが、これからの生活を豊かに暮らしたいと思っております。A医師をはじめ、手術後の介護に総力を上げてくださった、お若い方々に御礼申し上げます。ピカピカに磨き上げられた病院でやさしい言葉を頂く毎日感謝の気持ちで過ごして参りました。本当にありがとうございました。皆様日々お体を大切にご活躍になってください。

温かい言葉に本当に感謝します。これからも頑張ります。

【リハビリテーション病院：整形外科】

心温まる感謝の言葉をいただき、ありがとうございました。患者さんが順調に回復できるお手伝いできたことをうれしく思ひます。これからも、患者さんに満足していただける看護ケアを提供できるようスタッフ一同取り組んでまいります。

【看護部】

